



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 オーウエル株式会社

上場取引所

東

コード番号 7670

URL <https://www.owell.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 川戸 康晴

問合せ先責任者（役職名） 執行役員

（氏名） 山田 麻紀子

（TEL）06-6473-0138

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日

2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	33,178	△3.1	397	△1.5	510	△6.2	384	3.0
2025年3月期中間期	34,241	2.9	403	7.4	544	5.5	373	16.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 480百万円（56.9%） 2025年3月期中間期 306百万円（△57.6%）

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期中間期	38	22	—	—
2025年3月期中間期	36	45	—	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	44,030	21,683	48.9
2025年3月期	45,820	21,539	46.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 21,518百万円 2025年3月期 21,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	10.00	—	35.00	45.00
2026年 3 月期	—	10.00			
2026年 3 月期(予想)			—	30.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

(7) 売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益										
売上高			営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	71,000	2.3	1,250	0.8	1,500	△5.8	1,000	△43.8	97	75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社(社名) ー 、除外 2社(社名) 奥唯(上海)貿易有限公司、  
 UNI-ELECTRONICS PTE LTD.

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	10,500,000株	2025年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	439,678株	2025年3月期	455,516株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	10,049,244株	2025年3月期中間期	10,232,648株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
（1）経営成績に関する説明 .....	2
（2）財政状態に関する説明 .....	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
（1）中間連結貸借対照表 .....	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
（継続企業の前提に関する注記） .....	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	9
（セグメント情報等） .....	9
（収益認識関係） .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調がみられたものの、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられたことや地政学リスクの高まり等により、先行き不透明な状況にて推移しました。今後の国内外の景気動向においても、引き続き米国の通商政策の動向、ウクライナや中東地域をめぐる情勢や物価上昇、金融資本市場の変動等の影響が懸念されていることから、先行き不透明な状況が継続すると推測されます。

当社グループはこのような状況のもと、「商材提供」型から「ワンストップソリューション提供」型へと提供価値を革新すべく、コーティング関連事業においては、培ってきた塗膜形成力を核(コア)とした機能拡大を図り、我々の新たな提供価値の創造を推進してまいりました。エレクトロニクス関連事業においては、我々の発揮する機能を、さらに付与し、拡大することに取り組んでまいりました。また、これらの事業を展開する上で、社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、人的資本を充実させ、保有・調達する資源を、適切かつ効率良く活用することに努めてまいりました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は33,178百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は397百万円(前年同期比1.5%減)、経常利益は510百万円(前年同期比6.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は384百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

コーティング関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの国内自動車生産台数や鉄鋼、建設機械等の生産が前中間連結会計期間と比較して減少した影響により、減収減益となりました。

その結果、コーティング関連事業の売上高は23,131百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は917百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

エレクトロニクス関連事業では、前中間連結会計期間と比較してカーナビゲーション向けソフトウェアや車載用タッチパネルの販売が減少したこと等により、売上高は減少しましたが、車載向けセンサーやモーターコントローラの受注拡大等により、セグメント利益は増加しました。

その結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は10,046百万円(前年同期比5.6%減)、セグメント利益は375百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の29,945百万円に比べ2,181百万円(7.3%)減少し、27,763百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が1,172百万円増加し、売掛金が1,361百万円、電子記録債権が1,002百万円、棚卸資産が766百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の15,874百万円に比べ392百万円(2.5%)増加し、16,267百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が469百万円増加したことによるものであります。

#### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の19,710百万円に比べ2,082百万円(10.6%)減少し、17,628百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,100百万円、未払法人税等が251百万円、契約負債が632百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の4,569百万円に比べ149百万円(3.3%)増加し、4,718百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が166百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末の21,539百万円に比べ144百万円(0.7%)増加し、21,683百万円となりました。その主な内訳は、その他有価証券評価差額金が278百万円増加し、為替換算調整勘定が131百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に開示致しました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した連結業績予想数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,545	7,717
受取手形	520	337
売掛金	12,090	10,728
電子記録債権	4,034	3,031
棚卸資産	6,183	5,417
その他	573	533
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	29,945	27,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,474	1,455
機械装置及び運搬具（純額）	160	149
工具、器具及び備品（純額）	56	77
土地	1,833	1,834
リース資産（純額）	103	77
有形固定資産合計	3,628	3,593
無形固定資産		
ソフトウェア	241	200
のれん	5	2
その他	47	41
無形固定資産合計	294	244
投資その他の資産		
投資有価証券	10,419	10,888
長期貸付金	47	38
退職給付に係る資産	966	984
繰延税金資産	151	154
その他	403	400
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	11,951	12,429
固定資産合計	15,874	16,267
資産合計	45,820	44,030

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,211	12,110
電子記録債務	1,697	1,606
短期借入金	2,109	2,228
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	398	147
契約負債	701	68
賞与引当金	491	457
品質保証引当金	1	2
その他	1,049	957
流動負債合計	19,710	17,628
固定負債		
長期借入金	1,600	1,600
退職給付に係る負債	216	200
役員退職慰労引当金	72	76
繰延税金負債	2,560	2,726
資産除去債務	41	41
その他	79	73
固定負債合計	4,569	4,718
負債合計	24,280	22,347
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	773	776
利益剰余金	14,326	14,359
自己株式	△340	△328
株主資本合計	15,617	15,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,235	5,513
繰延ヘッジ損益	△13	△33
為替換算調整勘定	340	208
退職給付に係る調整累計額	189	165
その他の包括利益累計額合計	5,750	5,853
非支配株主持分	171	164
純資産合計	21,539	21,683
負債純資産合計	45,820	44,030

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	34,241	33,178
売上原価	29,945	28,885
売上総利益	4,295	4,292
販売費及び一般管理費	3,891	3,894
営業利益	403	397
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	135	159
持分法による投資利益	29	12
その他	33	39
営業外収益合計	201	217
営業外費用		
支払利息	30	15
為替差損	16	73
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	13	14
営業外費用合計	61	104
経常利益	544	510
特別利益		
子会社清算益	—	58
特別利益合計	—	58
税金等調整前中間純利益	544	569
法人税、住民税及び事業税	122	131
法人税等調整額	44	56
法人税等合計	166	188
中間純利益	377	380
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	4	△3
親会社株主に帰属する中間純利益	373	384



中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	377	380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209	278
繰延ヘッジ損益	55	△20
為替換算調整勘定	116	△130
退職給付に係る調整額	△26	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△4
その他の包括利益合計	△71	100
中間包括利益	306	480
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	298	487
非支配株主に係る中間包括利益	8	△6

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	544	569
減価償却費	166	161
のれん償却額	2	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△34
品質保証引当金の増減額(△は減少)	—	0
退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少)	△48	△67
長期未払金の増減額(△は減少)	△24	1
受取利息及び受取配当金	△139	△165
支払利息	30	15
持分法による投資損益(△は益)	△29	△12
売上債権の増減額(△は増加)	2,100	2,511
棚卸資産の増減額(△は増加)	△138	734
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,667	△1,148
子会社清算損益(△は益)	—	△58
その他	△338	△691
小計	463	1,818
利息及び配当金の受取額	138	163
利息の支払額	△30	△15
法人税等の支払額	△608	△361
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36	1,605
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△40	△54
固定資産の取得による支出	△49	△69
短期貸付金の純増減額(△は増加)	0	4
長期貸付けによる支出	△4	△3
長期貸付金の回収による収入	4	12
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△110
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△583	121
リース債務の返済による支出	△41	△27
配当金の支払額	△327	△351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△951	△257
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	△64
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△997	1,172
現金及び現金同等物の期首残高	6,393	6,545
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,396	7,717

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,603	10,637	34,241	—	34,241
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	2	506	509	△509	—
計	23,606	11,144	34,750	△509	34,241
セグメント利益	1,031	327	1,358	△954	403

(注) 1. セグメント利益の調整額△954百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「塗料関連事業」から「コーティング関連事業」へ、「電気・電子部品事業」から「エレクトロニクス関連事業」へと変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,131	10,046	33,178	—	33,178
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	14	507	522	△522	—
計	23,146	10,553	33,700	△522	33,178
セグメント利益	917	375	1,293	△895	397

(注) 1. セグメント利益の調整額△895百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	
塗料・表面処理剤	14,602	—	14,602
化成品	4,618	—	4,618
機器	972	—	972
完成工事	732	—	732
その他	2,677	—	2,677
電気・電子部品	—	10,637	10,637
顧客との契約から生じる収益	23,603	10,637	34,241
外部顧客への売上高	23,603	10,637	34,241

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計
	コーティング 関連事業	エレクトロニクス 関連事業	
塗料・表面処理剤	13,430	—	13,430
化成品	4,593	—	4,593
機器	881	—	881
完成工事	1,629	—	1,629
その他	2,597	—	2,597
電気・電子部品	—	10,046	10,046
顧客との契約から生じる収益	23,131	10,046	33,178
外部顧客への売上高	23,131	10,046	33,178